

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental Information Engineering SeminarⅠ）		
ナンバリングコード	R30401	大分類／難易度 科目分野	環境情報学専攻／応用レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1年／通年
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M001109	クラス名	池見研究室
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、 履修条件	特別研究を遂行するために求められるテキスト解釈力と論文の構築力を養うことを目的とします。		
	大学院の研究活動の一環として、議論を通して習熟を深めます。研究に対して積極的に自らの考えを発言することが求められます。		
教科書	研究内容に応じたテキストを指定します。		
参考文献及び指定図書	応用地質、地盤工学会誌		
関連科目	地球学特論A、B		

○基本情報		
授業の目的	実際に着手する研究を円滑に遂行することを目的に多方面から議論します。議論を通じて、自発的、創造的に研究を切り開いていくためのヒントを得ることを目的とします。	
授業の概要	研究を行うにあたって重要な既往研究のレビューを行います。適切な報告ができるように、テキスト読解力を養うとともに、テキスト解釈の要領を指導します。テキスト解釈にともなう既往研究の内容について議論を行います。研究主題に関連する既往研究の概要を網羅的に理解することをめざします。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	双方向に授業に関わる積極性を持つ			20%
【ディプロマ・ポリシー②】	目的に応じた文章作成、地図などの利用や文献等の適切な情報を収集できる。		40%	
【ディプロマ・ポリシー③】	工学基礎力や専門知識を応用し、課題解決に向けて考察できる		40%	

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

--

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	環境情報学特別演習Ⅰ（Environmental Information EngineerⅠ） 池見 洋明	授業コード	M001109
学修内容					
1.（1・2回目）ガイダンス 環境情報学特別演習Ⅰの授業内容の説明を行います。 授業の目的、内容、進め方を説明します。 研究テーマ設定に際しての注意事項の解説を行います。					
予習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
復習		各自の研究テーマの設計に関する調査。			約2時間
2.（3・4）研究主題について 研究の主題、方向性について説明します					
予習		研究主題の限定のための予備調査。			約2時間
復習		研究主題の限定に基づく、研究指針の検討。			約2時間
3.（5・6）既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してください。既往研究の調査を行い、類型化してまとめるなど。					
予習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
4.（7・8）既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してください。既往研究の調査を行い、類型化してまとめるなど。					
予習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
5.（9・10）既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してください。既往研究の調査を行い、類型化してまとめるなど。					
予習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
6.（11・12）既往研究の調査 同分野の研究論文の調査結果と内容を報告してください。既往研究の調査を行い、類型化してまとめるなど。					
予習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
復習		既往研究の調査、および類型化。			約2時間
7.（13・14）調査について これまでの既往研究から、調査項目を選定し、調査計画を立ててください。					
予習		調査方法に関して調査を行う。			約2時間
復習		調査方法の具体的検討を行う。			約2時間
8.（15・16）調査 調査、研究を継続してください。					
予習		調査方法の検討			約2時間
復習		調査結果の整理			約2時間

○授業計画		科 目 名	環境情報学特別演習 I（Environmental Information Engineeri	授業コード	M001109
		担当教員	池見 洋明		
学修内容					
9. (17・18)調査					
調査、研究を継続してください。					
予習		調査方法の検討			約2時間
復習		調査結果の整理			約2時間
10. (19・20)調査					
調査、研究を継続してください。					
予習		調査方法の検討			約2時間
復習		調査結果の整理			約2時間
11. (21・22)調査					
調査、研究を継続してください。					
予習		調査方法の検討			約2時間
復習		調査結果の整理			約2時間
12. (23・24)調査					
調査、研究を継続してください。					
予習		調査方法の検討			約2時間
復習		調査結果の整理			約2時間
13. (25・26)分析					
調査結果をもとに考察してください					
予習		分析手法の検討			約2時間
復習		分析結果の考察			約2時間
14. (27・28)分析					
調査結果をもとに考察してください					
予習		分析手法の検討			約2時間
復習		分析結果の考察			約2時間
15. (29・30)まとめ					
研究の背景、目的、方法とこれまでの結果についてまとめます					
予習		研究内容の報告準備			約2時間
復習		研究報告の再検討			約2時間
16.					
予習					
復習					